



認 定 書

国 住 指 第 2904 号
平成 26 年 12 月 4 日

一般社団法人日本壁装協会
代表理事 日比 祐市 様

国土交通大臣 太田 昭宏



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 26 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法第 2 条第九号及び同法施行令 108 条の 2 第一号から第三号まで（不燃材料）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
NM-3984
2. 認定をした構造方法等の名称
塩化ビニル系樹脂壁紙張／基材（不燃材料（金属板を除く））
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

1. 材料名

塩化ビニル系樹脂壁紙張／基材（不燃材料（金属板を除く））

2. 形状及び寸法等

項 目	仕 様
形 状	平板
表 面 形 状	(1)～(3)のうち、いずれか一仕様又は組合せとする (1)平滑 (2)粗面 (3)エンボス
表面化粧材の厚さ(mm)	3.5 \pm 0.35以下
表面化粧材の質量(g/m ²)	555.0 \pm 55.5以下

3. 材料構成

項 目	仕 様
表 面 化 粧 材	<p>塩化ビニル系樹脂壁紙</p> <p>…厚さ3.5\pm0.35mm以下</p> <p>質量555.0\pm55.5g/m²以下(有機質量190.0\pm19.0g/m²以下)</p> <p>構成：</p> <p>[1]化粧：(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>…質量30.0\pm3.0g/m²(固形量)以下(有機質量10.0\pm1.0g/m²以下)</p> <p>(1)合成樹脂：質量30.0\pm3.0g/m²(固形量)以下(有機質量10.0\pm1.0g/m²以下)</p> <p>構成(g/m²)</p> <p>{ 合成樹脂^{※1}…………… 10.0\pm1.0以下</p> <p>(但し、ポリエステル系は9.0以下とする)</p> <p>無機質系充てん材、無機質系顔料、無機質系添加剤^{※2} ……0～20.0\pm2.0</p> <p>(2)なし</p> <p>[2]主素材：(1)～(4)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1)塩化ビニル系樹脂</p> <p>([1]化粧が(2)の場合に限る)</p> <p>…厚さ2.8\pm0.28mm以下</p> <p>質量385.0\pm38.5g/m²以下^{※3} (有機質量125.0\pm12.5g/m²以下^{※4})</p> <p>構成(g/m²)^{※3}</p> <p>{ 塩化ビニル樹脂…………… 93.3\pm9.3以下</p> <p>(但し、合成樹脂インキ^{※5}0～6.7\pm0.7含む)</p> <p>可塑剤^{※6}・減粘剤(カルボン酸エステル系)…………… 44.8\pm4.5以下</p> <p>(但し、減粘剤は0～6.7\pm0.7の範囲とする)</p> <p>無機質系充てん材、無機質系顔料、無機質系添加剤^{※2} ……7.7\pm0.8以上</p> <p>有機質系発泡剤(アジカルボンアミド系、ポリスチレンポリスチレンビドラジド)</p> <p>……………0～4.1\pm0.4</p> <p>有機質系安定剤(亜鉛系化合物)…………… 3.1\pm0.3以下</p> <p>有機質系顔料^{※7}……………0～2.7\pm0.3</p> <p>添加剤(防かび剤、抗菌剤、機能性付加剤)……………0～2.0\pm0.2</p>

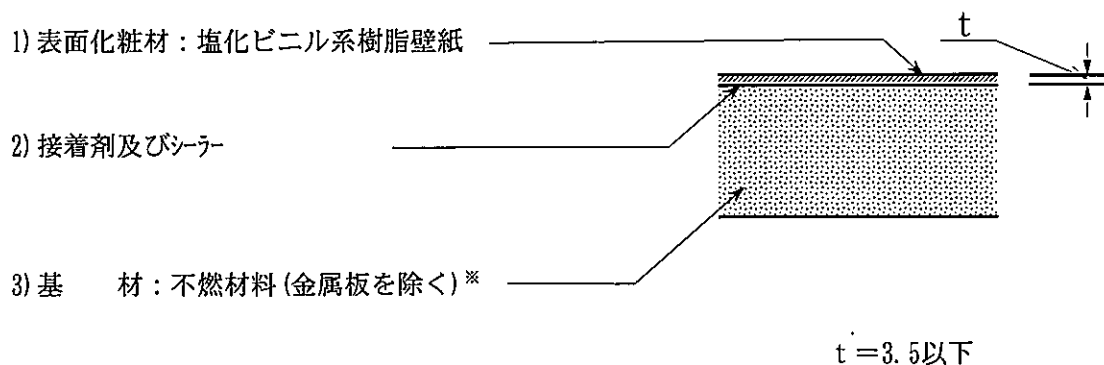
項 目	仕 様
表 面 化 粧 材 (つづき)	<p>(2) 塩化ビニル系樹脂</p> <p>…厚さ2.8 ± 0.28mm以下</p> <p>質量375.0 ± 37.5g/m²以下^{※3} (有機質量115.0 ± 11.5g/m²以下^{※4})</p> <p>構成 (g/m²) ^{※3}</p> <p>塩化ビニル樹脂 …… 85.8 ± 8.6以下 (但し、合成樹脂インキ^{※5}0～6.2 ± 0.6含む)</p> <p>可塑剤^{※6}・減粘剤 (カルボン酸エステル系) …… 41.2 ± 4.1以下 (但し、減粘剤は0～6.2 ± 0.6の範囲とする)</p> <p>無機質系充てん材、無機質系顔料、無機質系添加剤^{※2} ……7.1 ± 0.7以上</p> <p>有機質系発泡剤 (アジカルボンアミド系、ポリスチレンポリブタジート) ……0～3.7 ± 0.4</p> <p>有機質系安定剤 (亜鉛系化合物) …… 2.8 ± 0.3以下</p> <p>有機質系顔料^{※7} ……0～2.5 ± 0.2</p> <p>添加剤 (防かび剤、抗菌剤、機能性付加剤) ……0～1.9 ± 0.2</p>
	<p>(3) 塩化ビニル系樹脂</p> <p>…厚さ2.8 ± 0.28mm以下</p> <p>質量365.0 ± 36.5g/m²以下^{※3} (有機質量105.0 ± 10.5g/m²以下^{※4})</p> <p>構成 (g/m²) ^{※3}</p> <p>塩化ビニル樹脂 …… 78.4 ± 7.8以下 (但し、合成樹脂インキ^{※5}0～5.6 ± 0.6含む)</p> <p>可塑剤^{※6}・減粘剤 (カルボン酸エステル系) …… 37.6 ± 3.8以下 (但し、減粘剤は0～5.6 ± 0.6の範囲とする)</p> <p>無機質系充てん材、無機質系顔料、無機質系添加剤^{※2} ……6.5 ± 0.6以上</p> <p>有機質系発泡剤 (アジカルボンアミド系、ポリスチレンポリブタジート) ……0～3.4 ± 0.3</p> <p>有機質系安定剤 (亜鉛系化合物) …… 2.6 ± 0.3以下</p> <p>有機質系顔料^{※7} ……0～2.3 ± 0.2</p> <p>添加剤 (防かび剤、抗菌剤、機能性付加剤) ……0～1.7 ± 0.2</p>
	<p>(4) 塩化ビニル系樹脂</p> <p>…厚さ2.8 ± 0.28mm以下</p> <p>質量355.0 ± 35.5g/m²以下^{※3} (有機質量95.0 ± 9.5g/m²以下^{※4})</p> <p>構成 (g/m²) ^{※3}</p> <p>塩化ビニル樹脂 …… 70.9 ± 7.1以下 (但し、合成樹脂インキ^{※5}0～5.1 ± 0.5含む)</p> <p>可塑剤^{※6}・減粘剤 (カルボン酸エステル系) …… 34.0 ± 3.4以下 (但し、減粘剤は0～5.1 ± 0.5の範囲とする)</p> <p>無機質系充てん材、無機質系顔料、無機質系添加剤^{※2} ……5.9 ± 0.6以上</p> <p>有機質系発泡剤 (アジカルボンアミド系、ポリスチレンポリブタジート) ……0～3.1 ± 0.3</p> <p>有機質系安定剤 (亜鉛系化合物) …… 2.3 ± 0.2以下</p> <p>有機質系顔料^{※7} ……0～2.1 ± 0.2</p> <p>添加剤 (防かび剤、抗菌剤、機能性付加剤) ……0～1.5 ± 0.2</p>

項 目	仕 様
表面化粧材 (つづき)	<p>[3] 裏打材^{※8}：(1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) 裏打紙：</p> <p>…厚さ$0.5_{\pm 0.05}$mm以下</p> <p>質量$150.0_{\pm 15.0}$g/m²以下(有機質量$65.0_{\pm 6.5}$g/m²以下)</p> <p>構成(g/m²)：1)又は1)と2)を組合せた仕様とする</p> <p>1) 有機質：①、②のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>① 有機繊維^{※9} …$65.0_{\pm 6.5}$g/m²以下 (但し、合成樹脂系繊維^{※10}とその他の有機質系繊維を組合せて使用する場合は、合成樹脂系繊維^{※10}$15.6_{\pm 1.56}$以下とし、かつ有機質量を$52.0_{\pm 5.2}$以下とする。)</p> <p>② 合成樹脂^{※1} …$8.8_{\pm 0.88}$以下 有機繊維^{※9} …$46.0_{\pm 4.6}$以下 (但し、合成樹脂^{※1}を使用する場合、有機質量を$47.0_{\pm 4.7}$以下とする。有機繊維として合成樹脂系繊維^{※10}とその他の有機質系繊維を組合せて使用する場合、合成樹脂系繊維^{※10}は$1.0_{\pm 0.1}$～$16.6_{\pm 1.66}$とする。)</p> <p>2) 無機質：①、②のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>① 無機質系充てん材^{※2} …$0\sim 120.0_{\pm 12.0}$</p> <p>② なし</p> <p>(2) 裏打紙：</p> <p>([2]主素材が(2)で且つ[1]化粧が(2)の場合、又は[2]主素材が(3)若しくは(4)の場合に限る)</p> <p>…厚さ$0.5_{\pm 0.05}$mm以下</p> <p>質量$150.0_{\pm 15.0}$g/m²以下(有機質量$75.0_{\pm 7.5}$g/m²以下)</p> <p>構成(g/m²)：1)又は1)と2)を組合せた仕様とする</p> <p>1) 有機質：①、②のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>① 有機繊維^{※9} …$75.0_{\pm 7.5}$以下 (但し、合成樹脂系繊維^{※10}とその他の有機質系繊維を組合せて使用する場合は、合成樹脂系繊維^{※10}$18.0_{\pm 1.80}$以下とし、かつ有機質量を$60_{\pm 6.0}$以下とする。)</p> <p>② 合成樹脂^{※1} …$10.1_{\pm 1.01}$以下 有機繊維^{※9} …$53.0_{\pm 5.3}$以下 (但し、合成樹脂^{※1}を使用する場合、有機質量を$54.0_{\pm 5.4}$以下とする。有機繊維として合成樹脂系繊維^{※10}とその他の有機質系繊維を組合せて使用する場合、合成樹脂系繊維^{※10}は$1.0_{\pm 0.1}$～$19.2_{\pm 1.92}$とする。)</p> <p>2) 無機質：①、②のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>① 無機質系充てん材^{※2} …$0\sim 120.0_{\pm 12.0}$</p> <p>② なし</p>

項 目	仕 様
表 面 化 粧 材 (つづき)	<p>(3) 裏打紙：</p> <p>([2] 主素材が (3) で且つ [1] 化粧が (2) の場合、又は [2] 主素材が (4) の場合に限る)</p> <p>…厚さ 0.5 ± 0.05 mm 以下</p> <p>質量 150.0 ± 15.0 g/m² 以下 (有機質量 85.0 ± 8.5 以下)</p> <p>構成 (g/m²)：1) 又は 1) と 2) を組合せた仕様とする</p> <p>1) 有機質：①、②のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>①有機繊維^{※9} … 85.0 ± 8.5 以下 (但し、合成樹脂系繊維^{※10}とその他の有機質系繊維を組合せて使用する場合は、合成樹脂系繊維^{※10} 20.4 ± 2.04 以下とし、かつ有機質量を 68.0 ± 6.8 以下とする。)</p> <p>②合成樹脂^{※1} … 11.6 ± 1.16 以下 有機繊維^{※9} … 61.0 ± 6.1 以下 (但し、合成樹脂^{※1}を使用する場合、有機質量を 62.0 ± 6.2 以下とする。有機繊維として合成樹脂系繊維^{※10}とその他の有機質系繊維を組合せて使用する場合、合成樹脂系繊維^{※10}は $1.0 \pm 0.1 \sim 22.2 \pm 2.22$ とする。)</p> <p>2) 無機質：①、②のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>①無機質系充てん材^{※2} … $0 \sim 120.0 \pm 12.0$</p> <p>②なし</p> <p>※1: 合成樹脂は、エチン・酢酸ビニル系、酢酸ビニル系、ウレタン系、アルコキシラン加水分解縮合物系、塩化ビニル系、アクリル系、シリコン系、ポリエステル系、フッ素系のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※2: 無機質系充てん材、無機質系顔料、無機質系添加剤は、酸化チタン、酸化鉄、酸化亜鉛、カーボンブラック、マイカ、炭酸カルシウム、タルク、水酸化アルミニウム、水酸化マグネシウム、三酸化アンチモン、硝酸亜鉛、シリカ、金属粉 (アルミニウム)、鉍物粒及び鉍物粉、光触媒酸化チタン、無機系抗菌剤のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※3: 質量及び組成は、加工時に可塑剤、減粘剤、発泡剤が揮発により減量するため、配合質量及び配合組成とする。</p> <p>※4: 有機質量は、加工時に可塑剤、減粘剤、発泡剤が揮発により減量するため、配合有機質量とし、配合組成中の有機質を組合せた配合量合計とする。</p> <p>※5: 合成樹脂インキは、アクリル系、塩化ビニル系、ウレタン系、ニトロセルロース系、酢酸ビニル系、エチングリコールのいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※6: 可塑剤は、フタル酸系、テレフタル酸系、イソフタル酸系、アジピン酸系、ポリエステル系、DINCH系、エポキシ系、有機りん系、塩素化パラフィン系、トリメチル酸系のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※7: 有機質系顔料は、アゾ系顔料、フタジアン系顔料、縮合多環系顔料、合成樹脂^{※1}のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※8: 裏打材は、紙、無機質紙、不織布 (non woven paper) のいずれかとする。</p> <p>※9: 有機繊維は、パルプ、レーヨン、綿、麻、合成樹脂系繊維^{※10}のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※10: 合成樹脂系繊維は、ナイロン、アラミド、ビニロン、ビニリデン、ポリエステル、ポリ塩化ビニルのいずれか、又は組合せとする。</p>

項 目	仕 様
接着剤及びシーラー	<p>1)、2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>1) …質量$60_{\pm 6}\text{g/m}^2$(固形量)以下(有機質量$60_{\pm 6}\text{g/m}^2$以下) 構成:以下の[1]又は[1]と[2]を組合せた仕様とする</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="font-size: 3em; margin-right: 10px;">{</div> <div> <p>[1]でん粉系接着剤</p> <p>…質量$60_{\pm 6}\text{g/m}^2$(固形量)以下(有機質量$60_{\pm 6}\text{g/m}^2$以下)</p> <p>組成 (質量%)</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="font-size: 2em; margin-right: 10px;">{</div> <div> <p>でん粉のり ……$80_{\pm 2}$以上</p> <p>補強剤^{※11} ……$20_{\pm 2}$以下</p> <p>(又は補強剤なし)</p> </div> </div> </div> </div> <p>[2]シーラー：合成樹脂^{※12}</p> <p>…質量$10_{\pm 1}\text{g/m}^2$(固形量)以下(有機質量$10_{\pm 1}\text{g/m}^2$以下)</p> <p>2) …質量$40_{\pm 4}\text{g/m}^2$(固形量)以下(有機質量$40_{\pm 4}\text{g/m}^2$以下) 構成:以下の[1]又は[1]と[2]を組合せた仕様とする</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="font-size: 3em; margin-right: 10px;">{</div> <div> <p>[1]メチルセルロース系接着剤</p> <p>…質量$40_{\pm 4}\text{g/m}^2$(固形量)以下(有機質量$40_{\pm 4}\text{g/m}^2$以下)</p> <p>組成 (質量%)</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="font-size: 2em; margin-right: 10px;">{</div> <div> <p>メチルセルロース ……$80_{\pm 2}$以上</p> <p>補強剤^{※11} ……$20_{\pm 2}$以下</p> <p>(又は補強剤なし)</p> </div> </div> </div> </div> <p>[2]シーラー：合成樹脂^{※12}</p> <p>…質量$10_{\pm 1}\text{g/m}^2$(固形量)以下(有機質量$10_{\pm 1}\text{g/m}^2$以下)</p> <p>※11：補強剤は、エチレン酢酸ビニル樹脂エマルジョン、酢酸ビニル樹脂エマルジョンのいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※12：合成樹脂は、アクリル樹脂エマルジョン(アクリル酸エステル共重合体エマルジョン、メタクリル酸エステル共重合体エマルジョン)、エチレン酢酸ビニル樹脂エマルジョン、酢酸ビニル樹脂エマルジョンのいずれか、又は組合せた仕様、又はシーラーなしとする。</p>
基 材	<p>不燃材料(金属板を除く)</p> <p>平成12年の建設省告示第1400号に例示された不燃材料のうち、すでに化粧を施されたもの及び鉄鋼、アルミニウム、金属板を除くもの</p>

4. 構造説明図(寸法単位：mm)



※平成12年の建設省告示第1400号に例示された不燃材料のうち、すでに化粧を施されたもの及び鉄鋼、アルミニウム、金属板を除くもの